



日本鋳物中子工業会
会長 禰宜田 重春
愛知県鋳物中子工業会 会長

ご挨拶

一言ご挨拶を申し上げます。
当会を取りまく経営環境は、平成20年の秋以降、米国の金融危機に端を発した世界同時不況の激甚を受け、過去に例を見ないほど急激に落ち込みました。その後、内外の需要や政策の下支え効果などにより、徐々に持ち直しの兆しが見られるようになりました。「円高」や先行きの「不透明感」もあり、予断をゆるさない状況です。当会としては、後退りするのではなく前を向き「新しいものづくり」に挑戦しつつ、

「樹脂は減らせないか」、「砂はこれでいいのか」を今一度見直し、前進し続けたいです。

「中子は鋳物の命」「中子が無ければ中空鋳物はつくれない」の思いを中子づくりの誇りと自信につなげたいです。新しい流れをつかむために、「強みを伸ばす」ことも重要と考えます。連携を深めることにより「弱点を補う」ことも不可欠です。最後に、皆様のご多幸とご健康を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

竣工間近

黒龍産業(株)本社(愛知県碧南市)は同県西尾市港町に予て取得用地(約10,000㎡)に新工場を建設中で、3月20日に竣工の運びとなった。完成後は鋳型のみならず凍結鋳造システムの採用も予定されている。



建設中の新工場(約10,000㎡)
黒龍産業(株)西尾工場

お見事ホールインワン

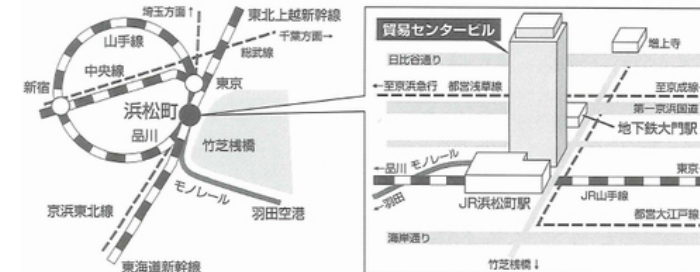
去る12月4日(土)、愛知県鋳物中子工業会主催の「忘年懇親会ゴルフコンペ」で会長の禰宜田重春氏は自身二度目となる快挙達成。会場は女子プロトーナメント中継でもお馴染みの『南愛知カントリークラブ美浜コース』“16番ホール”でのことでした。4月18日には友人の発起人により記念コンペの開催も予定されている。



←祝福のケーキを前に。禰宜田会長

東京本社移転

旭有機材工業(株) 代表取締役社長 佐次洋一氏は、この度、東京本社を下記に移転することとなった。業務開始は2月21日(月)より。
新住所：〒105-6120
東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル20階



日本鋳物中子工業会
副会長 松下 隆彦
静岡県シェルモールド工業会 会長

年頭所感

ここ数年、年末に静岡県内の「静岡県シェルモールド工業会」会員様の所に事務局として年末の挨拶に廻らせていただいております。昨年末も県内十数社にご挨拶に廻らせていただき、厳しい状況の中ですが頑張っておられるお話を伺いました。同様に当工業会事務局の一人として昨年まで会員訪問を行ってまいりました。いまだ多くの会員様のところに回ることができずに歯痒い思いをしております。いろいろな会員様のところに伺うとその土地や仕事のご事情をお聞かせいただけますが、皆さまがそれぞれ御苦辛され知恵を出された方法などを伺

うことができ、教えていただいたりお聞かせいただく中で感心することが多くいつも頭が下がる思いです。本年度の年間計画にも何か所かの会員訪問が計画されていたので、同行させていただければと楽しみにしております。また訪問先で伺った内容はできるだけ多く皆さんに知っていただけるように「中子 News」等でお知らせしていきたいと思っております。現在まだ景気回復とまでいかない状況の中ですが、本年も当工業会の皆様といろいろな意味でさらに会員相互の情報交換をさせていただきたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。

下請かけこみ寺事業

経済産業省・中小企業庁では、中小企業者の取引の悩みに応じる「下請かけこみ寺事業」を平成20年度から実施しています。

- 【事業の概要】
1. 相談窓口の設置: 中小企業者の取引に関するさまざまな悩み等を専門家が親身になって耳を傾け、適切なアドバイスをを行います。弁護士無料相談も実施しています。
 2. 迅速な紛争解決: 中小企業が抱える取引に関する紛争を迅速かつ簡便に全国の登録弁護士が中小企業の身近なところで解決します。
 3. 下請適正取引ガイドラインの普及啓発: 中小企業者に対するガイドラインの説明会を業種ごとに開催するなど、普及啓発を図ります。

【本件問い合わせ先】
(財)全国中小企業取引振興協会
下請かけこみ寺本部担当: 鈴木氏
TEL:03-5541-6655 FAX:03-5541-6680
<http://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/>

日本のど真ん中 愛知・名古屋から日本を変える

『日本と日本経済を取り巻く状況は刻一刻と深刻さを増し、明るい展望が見出せず、郷土愛知と愛知の経済も厳しさを増しております。今一度、愛知・名古屋を世界と戦える地域・社会・経済へと復活させるため、また、その実現を通して今の日本を変え、新しい日本の未来を創り上げていくために、今こそ大いなる一歩を踏み出す時と考えます。』と必勝を期し愛知県知事選に出陣した、元自民党衆議院議員大村秀章氏(50歳)は、民主の牙城愛知で無所属ながら圧勝当選した。(2月6日投票日)
大村秀章 1960年3月、愛知県碧南市生まれ。県立西尾高、東京大学法学部卒。農林水産省に入り、96年に衆院愛知13区から出馬、5期連続当選。

訃報連絡

杉松産業(株)本社(愛知県刈谷市)代表取締役社長でした杉浦庄松氏(享年76歳)は1月5日逝去。本会発足に多大なご尽力を頂きました。



日本鋳物中子工業会
副会長 田代 孝之
三重県シェルモールド工業会 会長

力強い地盤を

年の始めにあたり、ご挨拶を申し上げます。昨年に引き続き、依然として世界的な景気の行先は不透明であり、さらに内政・外交ともに多く問題を抱えた年明けとなりました。昨年は、建設機械やハイブリッドカーなどが好調ではありましたが、年末には、エコカー補助金の打ち切りによる急激な減産や、中国のレアアース輸出規制による国内での製造混乱発生など、浮き沈みの大きな年でもありました。そんな情勢の中、我々中子業におきましても、大手メーカーによる鋳造品のローカル生産化・グローバル調達化が収束しないため、生き残る術を必死で模索

したと振り返ります。今年は、経済状況そのものは、昨年よりも劇的には変化しないとは思いますが、この様な時こそ好機と捉え、景気に左右されない会社への体質強化を積極的に行うことが急務であります。今年の干支は卯です。「脱兎の如く」という兎が駆けるように非常に速く捕まえられない事を例えた諺があります。まさに現在の情勢を映しているようにも採れますが、「兎の登り坂」という物事が順調に進む事を例えた諺もあります。いづれにしても、今年はウサギの様にピョンっと一躍できる年でありたいと祈念して年頭のあいさつと致します。

◆今後のスケジュール◆

- 3月5日(土) 三重県シェルモールド工業会通常総会
- 3月11日(金) 常任理事会
- 3月20日(日) 黒龍産業(株)西尾工場竣工式
- 4月18日(月) 禰宜田会長ホールインワン記念コンペ
- 5月13日(金) 愛知県鋳物中子工業会定期総会

◆編集後記◆

会員の皆様のご意見をお待ちしています。又、年会費の納入をお願い致します。
事務局